

専門学校読売自動車大学校

学校関係者評価 報告

「平成 29 年度」

平成 30 年 10 月 11 日

学校関係者評価委員会

## 1. 学校関係者評価

学校関係者評価は、卒業生・保護者・地域住民・企業役職員等の学校関係者を選任し、学校が実施した平成 29 年度における自己点検評価の結果に関する評価を行い、教育活動と学校運営の改善に向けた助言を行う。

なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策等が適切であるかどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組みが適切かどうか

## 2. 学校関係者評価委員会の実施

平成 29 年度の「自己評価報告書」を、学校関係者委員に事前に送付した上で委員会を開催し、ご意見・ご提案を頂いた。また、委員の皆様には基準項目毎に 4 段階で評価頂き、その結果も含め報告書としてまとめた。尚、第 1 回委員会においては昨年度の教育活動や学校運営についての評価と今後の課題の提起を行い、次回の第 2 回委員会では 30 年度の間評評価と次年度への取り組み課題等の討議を行う。

<平成 30 年度 第 1 回> 開催日時：平成 30 年 7 月 26 日（木）17：00～18：00

場 所：610 教室

<平成 30 年度 第 2 回> 開催日時：平成 30 年 11 月 15 日（木）17：00～18：00

場 所：610 教室

## 3. 学校関係者評価委員会の出席者

### ① 学校関係者評価委員

- ・齋藤 義明：地域住民 亀戸 2 丁目町会副会長
- ・今井 一之：企業等 (株)関東マツダ
- ・松本 等：卒業生 読売自動車大学校同窓会 会長
- ・原田 友子：保護者 1 級整備学科 4 年生在学

(敬称略・順不同)

### ② 学校側参加者

- ・千葉 康文：理事長
- ・吉見 淳一：専務理事
- ・天野 誠一：法人本部長
- ・榎本 俊弥：校長
- ・大宮 律雄：事務局長
- ・渡辺 宜男：校長補佐
- ・北村 眞一：1 級整備学科 学科長
- ・北島 鎮夫：自動車整備学科 学科長
- ・鈴木雄一郎：教務委員長

#### 4. 学校関係者評価委員の意見・提案と評価平均点

平成 29 年度 学校関係者評価

##### 基準 1 教育理念 3.6 (前回 4.0←3.6)

- ・学生の基礎力低下傾向がある状況のなか、急速な技術進歩により学校に求められる事項が多く大変ご苦勞されていると思う。実践的な作業や新機構・新技術の習得を目標とした授業を取り入れていることはよいことである。今後も業界でもとめられる人材の育成に向け、PDCA サイクルを通して行ってほしい。
- ・新技術に対応し続けることは大変だと思うが、整備士教育には重要なことと考える。

##### 基準 2 学校運営 3.6 (前回 3.8←3.6)

- ・留学生の増加に伴う日本語授業の拡充や、教材車両の増車、タイヤチェンジャー、バルンサー等の機械工具の充実、ならびに机棚などの学習環境を整備していることは大変よいと思われる。
- ・若年層の人口減少の中で、入学者を増加させることは厳しいと思うが、しっかりした教育を行うことで評価を向上させる努力が学生募集にとって重要となっている。

##### 基準 3 教育活動 4 (前回 3.6←3.3)

- ・学生の基礎力低下傾向のなか、急速な技術進歩により学校に求められる事項が多く、ご苦勞が多いと思う。
- ・より実践的な作業や新機構・新技術の習得を目標とした授業を組み入れていることはよいと考える。
- ・今後も業界でもとめられる人材の育成に向け努力をお願いしたい。

##### 基準 4 学修成果 3.6 (前回 3.6←3.0)

- ・1 級取得については全国平均を大きく上回ったが、更に学生の能力を引き上げていただきたい。
- ・留学生の国家資格合格率は非常に高く、留学生の指導相談室を設けたことの効果も大きいものと思われる。側面からのアシストの継続強化して頂き、今後も学びやすい環境作りをしてほしい。

##### 基準 5 学生支援 3.6 (前回 3.8←3.3)

- ・学校側で考えている、国家資格不合格者に対するフォロー体制をより充実させていただきたい。
- ・自動車整備士に関する職業理解を深めるような教育的活動を多く実践頂きたい。
- ・学園祭等においても、小中学生を含めもっと多くの方に来校頂き理解を得る場にしてはどうか。

##### 基準 6 教育環境 4.0 (前回 4.0←3.5)

- ・留学生の増加に伴う日本語授業の拡充や、教材車両・設備の充実、ならびに学習環境が整備され大変よいと思われる。
- ・1 級取得については全国平均を大きく上回ったが、更に学生の能力を引き上げていただきたい。
- ・留学生の国家資格合格率は非常に高く、留学生に対する様々な取り組みが効果を上げていると思う。

基準7 学生の受け入れ募集 3.3 (前回 3.6←3.6)

- ・留学生が今後も増加する傾向ではあるが、企業側も労働力を確保するための人員が必要であるため、学校は定員数に近づける募集活動をお願いしたい。企業としても協力を惜しまない。

基準8 財務 3.6 (前回 3.8←4.0)

- ・特になし

基準9 法令等の遵守 3.6 (前回 4.0←4.0)

- ・特になし

基準10 社会貢献・地域貢献 3.3 (前回 3.4←3.0)

- ・活動には限界があると思われるが、社会人としての意識、学校の存在価値をアピールするためにも、さらに積極的に活動できるようご検討いただきました。

基準11 国際交流 3.6 (前回 3.8←3.3)

- ・留学生クラスを設けず、日本人との混在クラスや日本語授業の増設、支援ルーム設置などでハード面・ソフト面とも大変良い傾向であると思う。

平成30年度 of 取組状況

- ・卒業後のために、人間力・基礎力・資格取得力に特に重点を置き、時代に沿え、業界に順応し大いに活躍できる人物の育成ができているが、今後も継続的に社会の動向を敏感に察知し、遅れを取らない活動を期待している。
- ・今後も引き続き努力いただきたい。
- ・教育の内容についてはよく検討され工夫されているので問題ないとする。資格を持っているということは、その職業を長く続けるために必要な大切な要素であり、今後も資格取得者を増やす努力を続けるよう期待する。

まとめ

委員の方々のご意見・ご提案を参考として、今年度及び来年度に向けた学校運営の検討を行う。

以上